

今月号の目次

1999 年度総会報告	2 P
新年度活動計画	3 P
新役員の紹介	4 P
第一回学習会報告	5 P
10周年記念誌出版のお知らせ	
現地訪問のお知らせ	6 P
ハザー報告・会計からのお知らせ	7 P
6月・7月の活動予定	8 P

ミコシ

1999. 5. 20 No. 76

バングラデシュと 手をつなぐ会



ご協力ありがとうございました

楽しかった「手をつなぐ会総会」

四月二十九日(みどりの日)午後一時から「バングラデシュ

と手をつなぐ会」の総会が、福岡市の「ももちパレス」であり

ました。窓の外は青葉若葉、意見や質問も出て、楽しい

家族的な総会でした。忙しい人、家の遠い人も多いと思いま

す。地域での

報告会や、楽

しい集まりが

できたら、と

思いました。

みんな考えて見

ましよう。(大木松子)

アッサラム
アライクム、
ジヤパニ!
(こんにちは、
日本人の
みなさん)



1999 年度総会が開かれました

昨年度は、バングラデシュと手をつなぐ会が「バングラデシュに小学校をつくる会」として発足してから 10 年という節目の年。その 10 年を節目に、新たな活動を展開するためにさる 4 月 29 日、総会が開かれました。

大木代表のあいさつの後、98 年度の活動と決算の報告、規約改正・新運営委員の選出、99 年度の活動計画と予算案と続き、いずれも参加者の承認が得られました。

98 年度は、定例会を始めたり、10 周年記念誌の作成、チャリティコンサートの復活、開発教育の実践など新しい試みを行ない、会の新たなステップを踏み出したと感じました。同時に、これまでのミロンの発行、現地訪問とスタディツアー、およびその報告会、チャリティバザーなどこれまでの活動も継続して充実を図りました。募金活動も母子保健センター支援に引き続き、大洪水被災者救援の募金活動も行ない、多くの方の協力を得ることができました。また、内部的にも運営委員会と事務局体制の分離・効率化を図ったり、公的な助成金を申請したりと多くの面で改革を行なってきました。

しかし、バングラデシュと手をつなぐ会のみならず、日本の NGO は多くがまだ試行錯誤の時代にあります。手をつなぐ会でも、この 2 年あまり、現地への支援・協力のあり方、財政面の課題、組織の確立など、NGO としての共通課題と共に、手をつなぐ会独自の問題も抱えながら、話し合いを続けてきました。そして、今回の総会で、以下の基本方針を確認しました。

(1) 試行錯誤から長期計画の策定へ

1. カラムディ村現地の要望、現状をはっきりと把握し、
2. 手をつなぐ会と、ションダニ・ションスタで、ビジョンを共有すること
3. 日本側の人材、組織、財政を確立すること

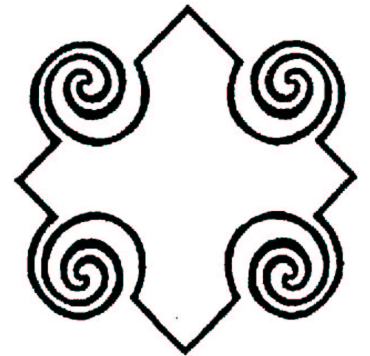
(2) NGO としての自覚と内容の充実

- ① 人材の育成 ② 組織体制の見直しと活性化 ③ 財政基盤の強化

(3) 10 周年記念誌の活用及び NPO 法人化の検討

(4) 「バングラデシュの母子保健センターを支援する会」(長崎)との交流・協力

今年も会員、協力会員、募金協力者、その他多くの皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



今年度の活動計画です。

4月23日の総会で、今年度の活動計画に承認を頂きました。
今年度も、会員の皆様のたくさんのご参加をお待ちしています。

<u>5月13日(木)</u>	第1回定例会	「バングラデシュの政治・行政を知ろうの会」 担当：古賀・高橋大貴
³ <u>6月10日(木)</u>	第2回定例会	「いのち・開発・NGO」をテキストに 担当：ニノ坂・達富・高橋かおり
<u>7月8日(木)</u>	第3回定例会	「現地訪問団を冊んで」
<u>7月22日(木)～8月1日(日)</u>	現地訪問	
<u>8月21日(土)</u>	第4回定例会	「10周年記念誌出版記念会」
<u>9月12日(日)</u>	教育シンポジウム	(内容：バングラデシュと日本の教育を考える)
<u>10月3日(日)</u>	チャリティーバザー	
<u>10月後半～11月はじめ</u>	招聘事業	：1名 ザホルさん(ジョダニ事務局長) もしくはルジヤンさん(母子保健センター医師)
<u>11月3日(水・祝)</u>	現地訪問報告会	
<u>12月4日(土)</u>	第5回定例会	講演会(畑野研太郎さんを予定)
<u>1月30日(日)</u>	スタディーツアー報告会	
<u>2月27日(日)</u>	第6回定例会	
<u>3月12日(日)</u>	チャリティーバザー	

活動内容について

① 定例会

今年度の定例会では、私たち会員が知識を深め、視野を広げられるよう、勉強会・講演会等を中心に開催したいと思います。

② 招聘事業

今年度は招聘スタッフを1名とし、運営委員との話し合いをメインに行いたいと思います。

③ 現地訪問とスタディーツアーの位置づけを明確に

今年度より、現地訪問とスタディーツアーの目的を分けて、訪問経験者・あるいは何らかの目的を持つ方は、夏の現地訪問に、初参加またはバングラデシュでの交流を目的とする方には冬のスタディーツアーに、参加していただこうと考えています。

④ 教育シンポジウム

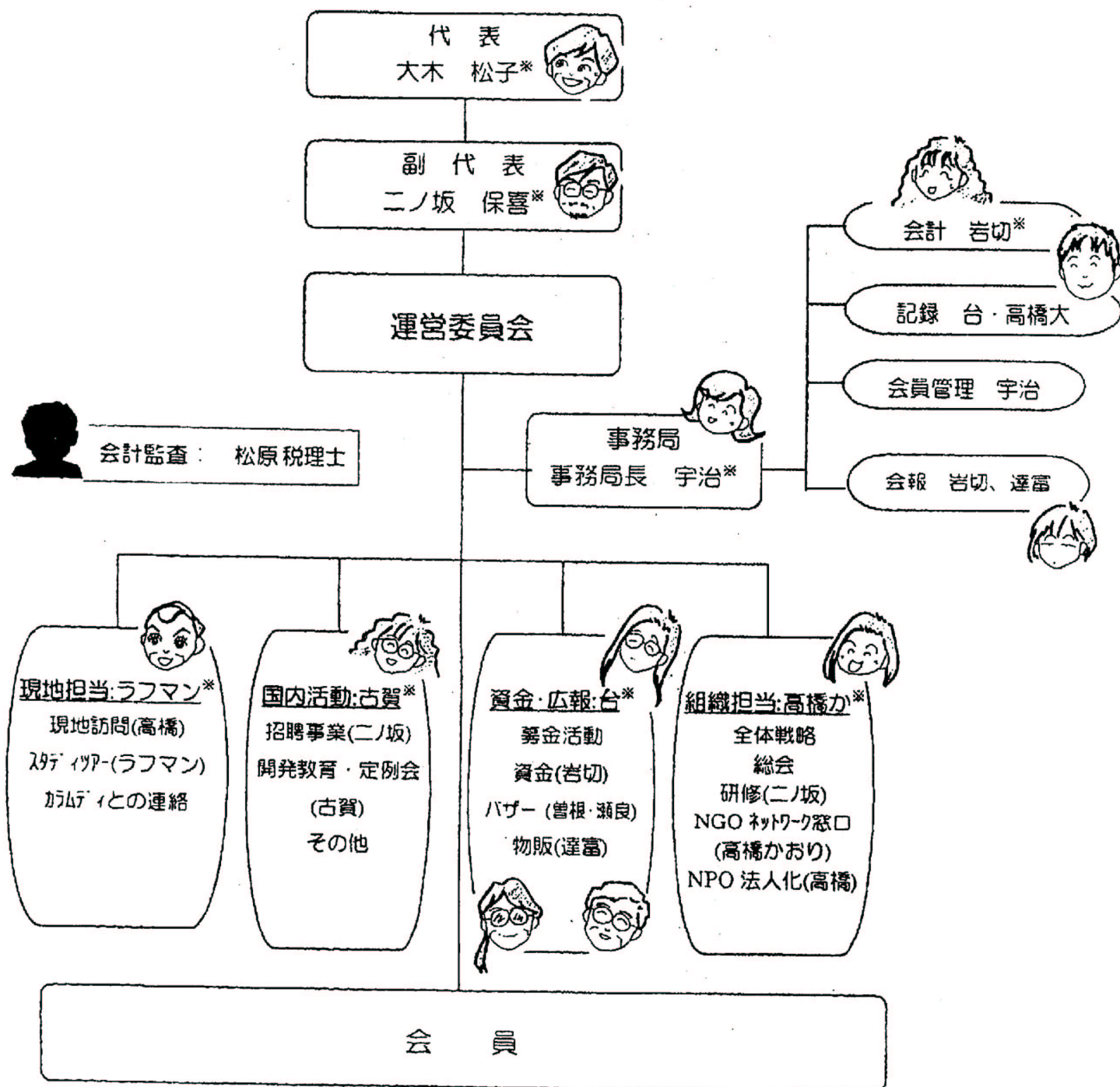
パネルディスカッション形式で、カラムディ村の教育紹介(できれば日本の教育の現状についてもパネリストの方に紹介していただく)を通じて、バングラデシュ・日本の教育を考える内容にする予定です。

⑤ 会報「ミロン」の定期発行

昨年度と同じく、2ヶ月に一度の定期発行を続ける予定です。

文責：古賀 南

99年度・新役員紹介



以上のメンバーで今年度の活動を進めて行くことになりましたが、なにぶん人手不足で困っています。会報誌などの発送作業、その他年間活動のお手伝いなど、どなたでもお手伝いのできる方のご協力をお待ちしています。

事務所（電話・ファックス：092-844-1369） または

にのさかクリニック（電話：092-872-1136）

（ファックス：092-872-1137）

までご連絡ください。

今年もよろしくお願ひします。

5月定例会（バングラデシュの行政・政治を知ろう）を終えて : 高橋大貴

「大貴君、ちょっとバングラの政治機構について調べてくれないかな?」。そう、私が古賀南さんから言われたのが1月末のスタディーツアー報告会であったから、もうかれこれ3ヵ月以上前のことになる。スタディーツアー参加以来、バングラや会の活動にだんだんと興味を持ち出していた私は、また例によって「ああ、いいですよ。」と安請け合いをしてしまったのである。当時はなんだかんだに忙殺されていたため（今もであるが…。当時なんで忙しかったのかはすでに記憶にない…。）、しようしようとは思いつつも、具体的に動けないまま、定例会ギリギリに至ったのは、まあいつものごとく…。

動き出したのは、2月に机の前に貼ったメモ書きのインデックスが、もうはがれ落ちようかとする頃であった。なにかにつけて文献を調べたり、調査したりするのは、まあ大学生の本分とも言えるところであり、ともかくそれ自体はとくに不安はなかったのだが、それがどう活用されるのかについては、会に入ったばかりの私には五里霧中だったのは事実である。「定例会」なるものに今まで参加したことが無かったからである。いまだに運営委員会と事務局会議の違いすらわかっていない私が、「定例会」なるものがいつもは来られない会員の方や一般の方をお呼びして行う勉強会のようなものだと思ったのは、4月の末の総会のときであったように思う。それで、「どうしよう…。」

……とは、べつに思わなかったが、まあなにはともあれ古賀さんと2人、事前に集めた資料でどたばたと準備が始まったわけである。

古賀さんがある程度の方針を考えてくれていたおかげで、資料はなかなか見つからずに苦労はしたものの、調べる側としてはとても調べやすく、まとめやすかったのは本当に助かった。古賀さんに感謝したい。私は最終的にはバングラの基本データと政治機構、教育分野を担当した。そして古賀さんが医療分野と全体としての問題の所在・原因・対策を受け持った。彼女は私よりも深くこの問題について考えていて、最後のまとめの部分は私にとってもとても勉強になるものであり、なかなか聞きがいのあるものであったと思う。私は私で、数値などのデータを細かく調べるのはとても好きなので、非常に楽しんで調べることができた。数値で全てが推し量れるとは思わないが、基本的知識として重要なのは言うまでもないだろう。データなどは全て身近な日本との比較という形にし、説明もある程度細かく、ある程度詳しくし、定例会ということで「わかりやすさ」ということに心がけたつもりであるが、皆様のご感想はいかがであったでしょうか?

私としては、かなり反省するところも多かった定例会であった。まずは、一緒に調べた古賀さんにかなり頼りすぎた面があったこと。そしてデータの古かったり、正確でなかったものが多々あった点もそうである。参加者が少なかったのも少々残念であった。また、今後も今回の定例会の経験をふまえて、会の活動を手伝ったり、バングラのことについて考えていければと思っている次第です。定例会に参加して頂いた方、本当にありがとうございました。

また今回のデータ等の資料は、西新事務所の方に残してありますので、参加できなかった方で興味のある方はみて頂けると幸いです。

10周年記念誌が完成しました！

昨年より、ミロン誌上でお知らせしていましたが「10周年記念誌」がついに出来上がりました。予定よりもかなり完成が遅れたため、計画当初よりご協力を呼びかけていたみなさまには大変ご迷惑をおかけしました。初めての記念誌の作成にこの1年どうなることかと心配のし通しでしたが、これまであまり知らなかった会の歴史に触れたり、またこれまで話し合ってきたことを形にすることで、さらにそれらをしっかりと共有できるようになり、会としても実りの多い1年になったと思います。

こうして97年度の10年委員会から引続いて、これまでの活動の反省と今後の展望を1冊の本にまとめたことで記念誌を作るという目標は達成しました。そしてこれからは、この記念誌を会員の方はもちろん、会員以外の方のできるだけ多くの方に読んでいただき、みなさまから率直なご意見を伺いたいと思っています。そうすることで初めて、10年目を迎えた今のこの会の姿が見えてくるのでは、と思います。これからの活動のために、みなさまからのご感想をぜひお聞かせください。

外池博子

今回記念誌を作成するにあたって、たくさんの方が原稿をお寄せ下さったり、広告掲載にご協力下さいました。

どうもありがとうございました。

カラムディ村 現地訪問のお知らせ

カラムディ村に足を運ぶ季節となりました。ここ数年、現地訪問の中では、話し合いに費やす時間が多くなってきました。この訪問は、シヨンダニ・シヨンスタと手をつなぐ会が、どのような方向でまた一年間を共に歩いていくのかを決める、重要な場と時間を意味しています。

お互いに顔を会わせ、気持ちをかよわせ、「村人の声」を聞き、「私たちの声」を伝えたいと思っています。

ご一緒に参加くださる方を募集しています。

日程： 7月22日（木）～8月1日（日）の予定
費用： 約18万円

やっとチャリティバザー できましたので、報告します。

前回のミロンでお知らせしましたが、春のバザーが ☂ で中止になり、去る4月11日にやっということができました（ホッ）。

当日は風が強く肌寒い一日で、「お客さん来るかなあ」とスタッフ一同心配して震えておりました（ブルブル）。残念ながら悪い予感的中し、客足は鈍いわ道行く人は歩くの速いわ、寒いわで、「まいったなあ」と唇を青くしておりましたところ、時間の経過とともにポチポチとお客さんが増え始め、終わってみると売上げは何と！、¥100,684 也！！

目標にしていた10万円を達成できて、さらにホッとした次第です。そして、今回は初の試みとしてバングラティの試飲をやってみました。これがなかなか好評で、紅茶もずいぶん買っていただきました（ウフッ）。というわけで、無事バザーを終えることができました。バザー品を提供してくださった多くの方に心よりお礼を申し上げます。どうもありがとうございました（またよろしく願います）。（台 麻理子）

～ 会計からのお知らせ ～

明るい太陽の日射しに向かって、若葉が生き生きと育つ季節を迎えました。皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

今年度の会計を担当致します岩切です。新年度もすでに新しい活動が始まっておりますが、今年も現地の教育と医療の運営費の送金、また国内外における活動の維持のため、会費・募金などによる皆様のご協力を、どうかよろしくお願い致します。

－新会員のご紹介（敬称略）－

☆ 会員：工藤美智子

☆ 協力会員：薮野祐三

－募金協力者のご紹介（敬称略）

中路カヲル 川瀬京子 内田朱音 大浦エミ子 上尾龍介 吉川英子 佐藤米子

村里やよい 今給黎靖子 バングラデシュの母子保健センターを支援する会

井上稲子（旅費カンパ）

以上、5月17日現在

上記のバザーの報告でもお伝えしていますように、計100,684円の収益がありました。心より感謝を申し上げます。

（岩切篤子）

お知らせとお願いコーナー

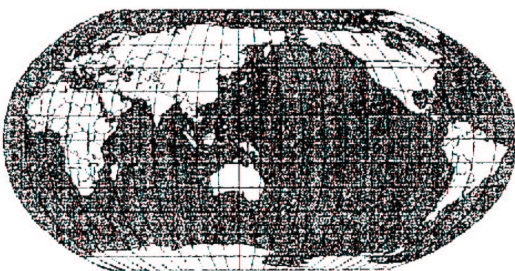
6月～7月の行事予定

(変更される場合があります。ご確認ください。)

月日	時間	内容	場所
6月3日(木)	19:00～ 21:00	定例会 「いのち・開発・NGO」	ももちパレス3階 会議室3
10日(木)	19:00～	事務局会議	にのさかクリニック
17日(木)	19:00～	運営委員会	西新事務所
20日(日)	18:00～ 21:00	長崎「母子保健センターを支援する会」 チャリティーコンサート	旧香港上海銀行長崎支店記念館
7月1日(木)	19:00～	事務局会議	にのさかクリニック
1・2日(木・金)	14:00～	ミロン発送作業 ※お手伝いお願いします!	西新事務所
8日(木)	18:30～ 20:30	定例会 「10周年記念誌出版記念会」	プロムナード大手門 大手門バス停そば：第三ワタナベビル4F
15日(木)	19:00～	運営委員会	西新事務所
7月22日(木)～8月1日(日)		99年度現地訪問	バングラデシュ・カラムディ村

以上、ご案内しましたように、7月8日(木)に10周年記念誌の出版記念会を開催致します。短時間ではありますが、これまでの10年をスライドなどで振り返り、その後参加者の皆様と会食をしながらの交流の集いにしたいと思います。当日の出欠は、同封の参加申し込み用紙にご記入の上、ファックスまたは郵送でご返送ください。多くの方のお越しをお待ちしています。

【世界地図】



バングラデシュと手をつなく会
代表 大木松子

〒814-0002
福岡市早良区西新5-4-20
TEL・FAX: 092-844-1369